

健やかで挑戦し続ける子の育成



満天の星

能登町立柳田小学校
学校だより 第11号
令和7年1月31日

元気・勇気・根気で「わくわくドキドキ」な柳田小学校

出口治明氏の著書「教える」ということから学ぶ

2025年が始まりました。年末年始はまとまったお休みをとれたかと思ひます。タイトルにもありますが、立命館アジア太平洋大学（APU）学長の出口治明さんの著書「教える」ということ 日本を救う、[尖った人]を増やすには一から学んだことを紹介します。

下の手書きの文章は、私がこの本を読んで感銘を受けたものを抜き出して記したものです。出口さんは長らく生命保険協会の仕事をされ、60歳から10年間ライフネット生命の経営者として部下をマネジメントし、70歳からAPU学長として教育の現場に身を置いた方です。あくまでも「持論」なのですが、私にとって「腹落ちする考え」をまとめてみました。

※この口の部分は別の本からです。



リーダーの役割は、「自分が動くこと」ではなく「人を動かすこと」
リーダーシップの本質は「人を本気にさせる力」であり、人を動かすために必要なワクワクするような未来の完成形を描き出し、それが現実となるまで、その人ならではの特別な役割に演じられると相手が信じさせる力。

『教える』ということ 立命館アジア太平洋大学学長 出口治明
【教育の2つの目的】

- ① 自分の頭で考える力を養う…自分が感じたことや自分の意見を、自分の言葉で、はっきりと表現できる力を育てること（人格の完成）
- ② 社会の中で生きていくための最低限の知識（お洒落）を伝える…お金、社会保障、選挙など、社会人になるとすぐにも直面する世の中の仕組みを教えること（社会の形成者として必要な資質を備える）

○自分の頭で考える力を身につけるには「先人の真似」から入り、彼らの思考のプロセスを体験し、他の人と議論を重ねるから考える癖をつけていく。→タテ・ヨコ・算数という思考の枠組み
タテ…昔の人の考えを知る
ヨコ…世界の人から学ぶ
算数…エピソードではなく、エビデンス。数学、データ、ロジック

○社会を生き抜くための「7つの政経」

- ① 「国家」の基礎を知ると…国家の本質は、警察や軍などの暴力手段と合法的に独占していること。維持するためには「想像の共同体」。
- ② 「政府」の基礎を知ると…政府とは「公財政や公共サービスを提供するオペレーションの主体」であり、基本は「税金（負担）」と「給付（公費）」。
- ③ 「選挙」の基礎を知ると…政府は市民の手でつくられるものであり、その政府をよりよく変えるための手段。→自業や集権は「現在の政治を信任することと同じ」。投票率が50%→80%に上げれば「改革」が選ばれる可能性高。
- ④ 「税金」の基礎を知ると…市民が払った税金をどうやって分けたらみんなが豊かに暮らせるか？と考えるのが「政治」。自分たちの税金を何に使うのか「消費行動」と同じ。例、アメリカの冷戦中戦争。
- ⑤ 「社会保障」の基礎を知ると…少子高齢化による社会保障の不安定改革と豊足財源確保のためにも→所得税から消費税への転換

- ⑥ 「お金」の基礎を知ると…財産三分法。
「財布」：食費や日用品の購入など教日間の生活に必要なお金。
「投資」：はくあていいお金。はらなくて必要とないお金。
「預金」：病気になる時に引き出せるお金。（流動性）
- ⑦ 「情報の真偽と確かめる基礎を知ると」…7E17ニュースを見破るコツは、検索項目の後に「デュー」として「統計」をビ入力して検索する。新聞と複数読むのも効果的。

★何かを成すのに必要な4つのP…目的 (purpose)、情熱、あるいはやる気 (passion)、仲間 (peer) そして、遊び心 (play)

★どうして勉強する必要があるのか

- ① 「選択肢が増える」…学んで知ることから人生の選択肢が増える。
- ② 「生涯収入が高くなる」…18-19歳くらいまでに学習習慣や学習意欲を身につけると一生学び続ける。

🌸 どんどん進歩していく世界に対して、技術的・専門的な教育だけを施しても、すぐに役に立たなくなります。本当に役に立つのは「原点」から考える力、探究力であり、問いを立てる力です。社会常識を全部捨て、「タテ・ヨコ・算数」で考える力です。人から何と言われようと「自分の頭で自分の言葉で考える」「腹落ちするまで考える」ことが、できる人間をつくるのがAI時代の教育の現場に求められている。

★教える相手に「伝わりやすくする」話し方

- ① 最初に結論を述べる…結論から話すと「話が長くなる」「話が脱線する」「ポイントが突っ込まない」といって「おもしろさが解消され、相手の理解度が低くなる」。
- ② エビデンスを提示する（できれば3つ以内）…「3」は受け手にとって納得感を得やすい数字で、根拠・証拠、理由に絞るのが理想。
- ③ 相手のレベルに合わせて伝え方を考える

★「記憶力」を鍛えるための「出力」…インプットしたものはアウトプットしてこそ記憶に留めることができる。
→「情報を整理する方法」①人に話す。②書いた文章を人に見せる。

この本の「はじめに」では、教師が生徒に勉強を教えたとき、生徒が理解できなかったとしたら、それは教師がアホやからです。真意が伝わらないとしたら、それは教える側の力不足であり責任です。と書かれています。教師に限らず、学び続ける人が「教える」ことができるのだと思います。。

行事予定 2月・3月

2月		
1	土	
2	日	
3	月	指導主事計画訪問(全クラス授業公開 5 限)
4	火	
5	水	5～6 年児童委員会 6 限 4 年補充学習 学校関係者評価委員会16:15 スクールカウンセラー来校日
6	木	6年補充学習
7	金	特支紙ふうせんさん読み聞かせ 3 年社会科見学(珠洲警察署) スクールカウンセラー来校日 歯みがきセット・ズック持ち帰り日
8	土	
9	日	
10	月	算数検定Ⅳ
11	火	建国記念の日
12	水	町野小研究授業(4年社会科4限) 小中連携連絡会(6 年授業公開4・5 限) 1、2年、4～6年15:00下校 3年補充学習 スクールカウンセラー来校日
13	木	5年補充学習
14	金	1年紙ふうせんさん読み聞かせ 3年社会科見学(郷土資料館)
15	土	
16	日	
17	月	なかよしアンケート
18	火	6年生を送る会リハーサル
19	水	4年補充学習 スクールカウンセラー来校日
20	木	6年生を送る会(9:25～11:30)
21	金	2年紙ふうせんさん読み聞かせ スクールカウンセラー来校日 歯みがきセット・ズック持ち帰り日
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	輪島市指導主事訪問(1～6 年授業公開 5 限) 4～6年クラブ(最終日) 3年補充学習 スクールカウンセラー来校日
27	木	漢字検定Ⅲ 6年補充学習
28	金	3年紙ふうせんさん読み聞かせ 国連写真プロジェクト撮影日

3月		
1	土	
2	日	
3	月	卒業式特別時間割開始
4	火	
5	水	5・6年委員会(6 限) 4 年補充学習 スクールカウンセラー来校日
6	木	5 年補充学習
7	金	4 年紙ふうせんさん読み聞かせ スクールカウンセラー来校日 新旧 PTA 役員会 歯みがきセット・ズック持ち帰り日
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	5 年サクラマス放流 2 限
12	水	
13	木	
14	金	6 年紙ふうせんさん読み聞かせ 卒業式予行練習(午前)
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	卒業式10:00開式
19	水	
20	木	春分の日
21	金	5 年紙ふうせんさん読み聞かせ
22	土	
23	日	
24	月	修了式・離任式
25	火	春休み(～4月6日)
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

6 年生を送る会

2月 20日(木) 9:25～11:30

- 今年度は、午前に行います。
- プログラム等の詳細は、後日お知らせいたします。

校舎の改修工事を行っています。来校される方は、安全に気をつけてお通りください。
ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いいたします。

心新たに 3 学期始業式

1月8日

ランチルームで、3学期の始業式を行いました。

様々な思いで1月1日を迎えたことと思いますが、今年は、予定通りに始業式を迎えることができました。元気に登校する姿を見て、職員一同、ほっと胸をなでおろしました。

始業式に続いて、生徒指導担当が、「心のこもった挨拶ができるやなぎっ子になろう。」という話をしました。また情報教育

担当が、通信機器を使う際のルールやマナーについて、話をしました。これから、タブレット端末を持ち帰って学習することが増えてきます。ご家庭でも、使い方について改めてお子さんと確認していただきますよう、お願いいたします。



校内書初め

1月8日

始業式の後、各学年に分かれて書初めを行いました。

1年生と2年生は、鉛筆で、3年生以上は毛筆で取り組みました。2学期から冬休みにかけての練習の成果が表れた力作揃いでした。



消防署見学

1月17日

3年生が、上町にある能登消防署を見学しました。消防車や救急車の装備を見せていただいたり、素早く出動するための工夫を教えてくださいました。3年生は、この後警察署の見学も行い、「地域の安全を守る仕事」についての学びを深める予定です。



心の授業をしました

1月10日

スクールカウンセラーの紺谷先生が、1～3年生に「心の授業」をしてくださいました。

1月1日を終えた今も、まだまだ不安な気持ちで生活を送っている児童もたくさんいます。そこで、お話だけでなく、不安を和らげる呼吸法などもみんな練習しました。

スクールカウンセラーの紺谷先生は毎週水曜と木曜の午前、中川先生は隔週金曜の午前に来校されています。児童との個別面談のやクラス全体での心の授業だけでなく、保護者の方の相談もお受けできます。ご希望の方は、担任を通じてお知らせください。



知っていますか？「アニバーサリー反応」

つらい出来事を思い起こすような節目の日に、一旦収まっていた動悸などの反応が再び現れることをアニバーサリー反応といいます。

<不安を和らげる方法>

- ・深呼吸
- ・全身にぐっと力を入れ、だらんと脱力
- ・不安な気持ちを話す など

お家の方や地域の方もお試しください。

保育所の先生にインタビュー

1月10日

2年生が、柳田保育所の先生にインタビューをしました。生活科で自分の成長を振り返る学習の一環です。保育所の人にみんなが好きだった遊びなどについて、教えていただきました。



鼓笛練習 スタート

6年生を送る会に向け、3～5年生による鼓笛隊の練習が始まりました。パート別に分かれて6年生から、基本動作や音出しなど教わっています。2月からは、どのパートも本格的に校歌の練習に入る予定です。



図書委員会〇×クイズ

学校図書館の利用の仕方を見直してもらおうと、図書委員の児童が各教室を訪問し、〇×クイズを行いました。

「本を返却するときは、適当な場所でよい？」

→× 決められた返却場所へ戻しましょう。

「靴を脱ぐ場所は廊下でよい？」

→〇 揃えて置いてください。

など、当番活動をしていて気になったことをクイズとして出題しました。

